

# 「第39回デンソーカップチャレンジサッカー 静岡大会」報告

岡山県 佐野生昂

## ■主催

公益財団法人日本サッカー協会 一般財団法人全日本大学サッカー連盟

## ■日程

2025年2月26日～3月2日

## ■会場

時之栖スポーツセンター



## ■参加審判員

北海道1名 東北2名 関東2名 北信越2名 東海2名 関西1名  
中国2名 (山本柚稀 佐野生昂) 四国1名 九州3名

## ■参加インストラクター

赤坂修氏 柳岡拓磨氏 青山健太氏 大柿拓馬氏

## ■割当

- ・2月26日 12:00 グループリーグ第1節 @裾野A  
日本高校選抜 vs 関東選抜B 担当：主審 INS：大柿拓馬氏
- ・2月27日 12:00 グループリーグ第2節 @裾野A  
関西選抜 vs 関東選抜B 担当：4th INS：赤坂修氏
- ・2月28日 12:00 グループリーグ第3節 @裾野C  
北海道選抜 vs 関東選抜B 担当：副審 INS：青山健太氏
- ・3月2日 9:00 3位決定戦 @裾野C  
プレーオフ選抜 vs 関東選抜B 担当：4th INS：大柿拓馬氏
- ・3月2日 12:00 決勝 @裾野C  
日本高校選抜 vs 関東選抜B 担当：副審 INS：青山健太氏

## ■振り返り

・2月25日

<研修>

目的 大会の成功

テーマ 納得感

手段 プレーの再開 - 競技規則の厳守

プレーの停止 - 笛のタイミング.安全の確保

・2月26日

<主審>

○態度

○判定基準

△ゲームを感じる (勝っているチームが何をしたいか)

△情報量

△ステップワーク

#体の小ささをどう魅力にするのか (スピードの変化など)

・2月27日

<4th>

△急な交代に焦らない

△負傷した選手の再入場させる場所 (ファウルした選手に近いと、どうなりそうか)

・2月28日

<副審>

○オフサイドラインキープ、判定

○アイコンタクト

○△ファウルサポート

・3月2日

<4th>

○ベンチとのコミュニケーション

○交代の対応

○レフェリーとのコミュニケーション、確認

△PKなどの事象と交代が重なった時の対応

<副審>

○オフサイドラインキープ、判定

○アイコンタクト

・その他、研修会等

- 反則があった場所でシグナル
- レフェリーに出ていく
- 注意の見せ方、大げさに
- 守備側を見る（ファウルは守備側がする）
  - ①意図 ②プレーの可能性 ③タイミング ④強さ
- 自分が離れている

→自分より有力な情報を持っている審判員がいる!?

- どんなとき副審がサポートする？

→レフェリーが見えてない、レフェリーの距離が遠い、判定の差が大きい

■最後に

この度は、デンソーカップチャレンジサッカー 静岡大会に中国地域の代表として参加させて頂き、ご支援頂きました中国サッカー協会、中国大学サッカー連盟をはじめとする関係者の皆様に感謝申し上げます。また、大会の運営をして頂きました全日本大学サッカー連盟の皆様にも感謝申し上げます。

この大会は同世代の日本トップレベルの選手ばかりで、予想を大きく上回る、今まで経験したことのないプレースピード、強度を体感することができました。今まで意識しながらできていたことも、余裕が生まれずリアクション、後追いになることが多く、悔しい大会になりました。しかし、この大会のプレースピード、強度を体感できたことはとても大きな収穫になりました。この大会に基準を合わせられるよう、トレーニングに取り組んで参ります。

また、今大会の研修中に「地域学連の審判環境紹介」をする時間があり、他地域の学連審判部の良いところをたくさん知ることができました。聞いて終わりではなく、中国学連審判部、岡山県学連審判部に還元して参ります。

審判員として、大会に求められていることを考え、行動できるよう取り組んで参ります。インストラクターの皆様、全国の審判員の皆様、ありがとうございました。



# 第 39 回デンソーカップチャレンジサッカー静岡大会

## 参加報告書

中国地域派遣審判員（岡山県） 山本 柚稀

### 【大会要項】

- ・大会正式名称  
第 39 回デンソーカップチャレンジサッカー静岡大会
- ・主催  
公益財団法人日本サッカー協会 一般財団法人全日本大学サッカー連盟
- ・協賛社及び後援団体  
(1) 特別協賛：株式会社デンソー  
(2) 協賛：ミズノ株式会社、株式会社ミカサ、SOU ホールディングス株式会社、MCC スポーツ株式会社、管清工業株式会社、株式会社キミラボ、キリンビバレッジ株式会社  
(3) 後援：スポーツ庁、静岡県、静岡県教育委員会、公益財団法人静岡県スポーツ協会、一般財団法人静岡県サッカー協会、裾野市、裾野市教育委員会、御殿場市、御殿場市教育委員会
- ・日程  
2025 年 2 月 26 日（水）～3 月 2 日（日）
- ・試合会場  
時之栖スポーツセンター
- ・参加チーム  
U-20 全日本選抜、関東選抜 A、関東選抜 B、東海選抜、関西選抜、プレーオフ優勝チーム、プレーオフ選抜、日本高校選抜

### ○担当試合

- |   |                     |            |    |       |     |
|---|---------------------|------------|----|-------|-----|
| ① | 2 月 26 日（水）9:30K.O. | 関東選抜 A     | vs | 東海選抜  | A2  |
| ② | 2 月 27 日（木）9:30K.O. | プレーオフ選抜    | vs | 東海選抜  | R   |
| ③ | 2 月 28 日（金）9:30K.O. | U-20 全日本選抜 | vs | 東海選抜  | 4th |
| ④ | 3 月 2 日（日）9:30K.O.  | 東海選抜       | vs | 北海道選抜 | 4th |

### ○振り返り

- ・ タイミングや副審との合わせではなく、正しい判定を求める
  - ↳ さし間違いをしないを目指すのではなく、正しい判定を目指す
- ・ 状況、目線、雰囲気、ポジションなどから予測
  - ↳ 試合の早い状況の中で温度感を見つける・つくる
- ・ タフが重要ではない
  - ↳ 不用意・無謀・過剰 or タフ とくくりで見極める
  - ⇒ 選手をこわさないことに重点をおく
- ・ 正しい判定のための見きわめ、そのための認識を再確認する
  - ↳ 動き出しや目で見たものをもとに整理する

## ⇒ サッカーを選手に楽しんでもらうため

### ○デンソーカップに参加した感想

今大会の参加にあたり、ご尽力いただきました、全日本大学サッカー連盟の方々、各競技場の運営スタッフの方々、両チーム関係者、指導者の皆様、株式会社デンソーをはじめとするスポンサーの方々、本当にありがとうございました。今大会を通じて、学ばせていただいたことを生かし、レフェリングの向上に励んでいきたいと思えます。

また中国大学サッカー連盟、中国サッカー協会をはじめとした関係者の皆様にも併せて感謝申し上げます。ありがとうございました。